

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

住友の事業精神に基づき、地球および社会との共存を図り、健全な企業活動を通じて社会への貢献とステークホルダーへの責任を果たし、より信頼される企業をめざす

ニッケル生産量
15万トン/年

銅生産量
30万トン/年

材料事業利益
250億円/年

当期利益
1500億円/年

② 中長期の経営戦略

1. 事業環境変化への対処

ケブラダ・プランカ銅鉱山とコテ金鉱山の戦力化、電池材料事業の立て直し、製錬事業の競争力強化、ROCE経営推進

3. 持続的成長を支える資産活用

優良な鉱山資産、卓越した技術・DX基盤、成長戦略を支える人材の活用によるものづくり力の強化

2. 次の成長への準備

ニッケル・銅・金開発プロジェクト推進、リチウムイオン二次電池リサイクル事業、SiC貼り合わせ基板拡販、SOLAMENT®農業領域参入

4. サステナビリティ推進

2030年のありたい姿に沿った重要課題への取り組み、2050年カーボンニュートラル向けロードマップに基づくGHG排出量削減

③ 対処すべき課題

① 資源開発の難易度上昇

- ・資源ナショナリズムの高揚への対応
- ・鉱山の高地・奥地・深部・低品位化への技術対応
- ・地域社会との良好な関係性構築

② 非鉄金属の需給バランス悪化

- ・ニッケルの供給過多継続への対応
- ・電気自動車普及速度の低下への対応
- ・製錬マージン回復は2030年以降と想定

③ 材料事業の回復鈍化

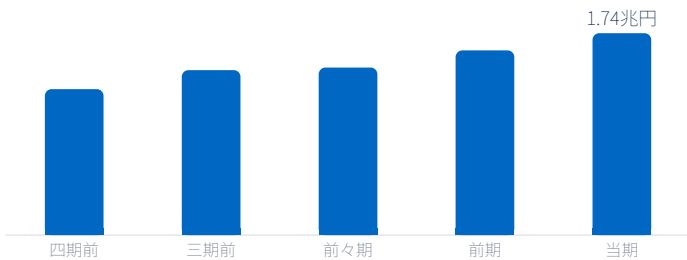
- ・電池材料はEV需要鈍化で価格・技術競争激化
- ・機能性材料の先行きは不透明
- ・ブロック経済進行への対応

面接で使えるポイント

- ・430余年続く住友の事業精神に基づき、ものづくり企業として社会的責務を果たすことを重視している企業
- ・長期ビジョン『世界の非鉄リーダー』実現に向け、ニッケル15万トン、銅30万トン、利益1500億円を目指す野心的な目標
- ・2050年カーボンニュートラル、リチウムイオン電池リサイクル、SiC基板など社会課題解決への技術開発に注力

証券コード 5713

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
1.74兆円営業利益率
－（未開示）財務健康度
44点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 66.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
805万円

非鉄金属内 9位/32社

平均年齢
40.8歳

非鉄金属内 29位/32社

平均勤続
16.8年

非鉄金属内 14位/32社

女性管理職
3.1%

非鉄金属内 20位/28社

男性育休
113.0%

非鉄金属内 1位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

資源開発から非鉄金属製品の製造・販売を手がける
総合非鉄金属企業

主力事業・セグメント

- ・ Smelting・Refinin 74.6%
- ・ 素材 14.4%
- ・ 鉱物資源 11.1%

強み・特徴（公開データから）

- ・ 連結売上高1.74兆円の大企業
- ・ 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: 住友金属鉱山が10倍増益、純利益5兆円のソフトバンクGは18

